

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	中国語第二		
英文授業科目名	Elementary Chinese II		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	量子・物質工学科		
担当教官名	鷺巣 益美 (学内連絡教官 湯川 敬弘)		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
一学期に引き続き中国語の基礎事項の習得を目的とする。とくにピンインの習得に重点を置く。テキストの内容を完全にマスターすれば、中国語検定試験の4級程度の力はつくはず。

【前もって履修しておくべき科目】
中国語第二

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
教科書：『身につく中国語』白帝社参考書：授業中に紹介する。

【授業内容とその進め方】
基本的には一学期と同じ。文法事項が複雑になってくるため授業中に音読にさく時間は少なくなる が、CDを活用して各自復習を怠らないこと。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】
全授業回数の三分の二以上出席していれば定期試験を受験することができる。遅刻を三回したら欠席一回に換算する。小テストは定期試験と同等に扱う。授業中に指名しても答えることができなければ、試験の点数から3点差し引く。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【オフィスアワー：授業相談】

月曜日の12:30から13:00まで非常勤講師控え室にいる。その他の時間と方法については相談に応じる。

【学生へのメッセージ】

ピンインというひとつの「ヤマ」を越えられるか否かがカギ。中国語検定をはじめとするいくつかの検定においても「ピンイン」は必須事項である。辞書を引くにしてもインターネットの中国語サイトにアクセスするにても中国語で電子メールを送るにしても、ピンインを書くことができなければ話にならない。

【その他】